

竹原の盆踊り【たけはらのぼんおどり】



開催場所

宮若市竹原地区

竹原隣保館

開催日

8月13日～8月15日

【芸能の概要】

毎年旧盆の8月13日から15日の間に町内で踊られる盆踊り。1800(寛政12)年に起こった、吉次郎とお蔦という男女の心中悲恋の物語が口説きとして伝わっており、盆踊りとして踊られている。町内各所の自治区単位で踊られており、口説きを録音テープに吹き込んで行っている部分と、古老による唄い手(チブタイさんという)が口説く部分、この唄い手に太鼓の楽が入る部分とに分かれている。

【芸能の特徴】

若宮町で古くから踊られている脇田口説は、1800(寛政12年)におこった吉次郎とお蔦という男女の心中悲恋の恋物語が口説きとして町内に伝わり盆踊りとして踊られている。町内各所、自治区単位で踊られており、竹原地区は昔ながらの古老による歌い手が口説き、太鼓の楽を入れ現在も伝承活動を続けている。

戦時中(昭和20年頃)人手不足のため、一時中断したが、戦後すぐに復活。

【使用する祭具・道具など】

太鼓、横笛の地方と唄方の地謡で構成されている。現代曲は、テープを使用している。

・アクセス

未入

・周辺の観光

脇田温泉、竹原古墳
若宮えびす(11月)
ふるさと祭(11月)
若宮八幡放生会大祭(10月)

・近くの特産品

ぶどう、いちご、鶏卵、味噌

